

なすび

第 26 号

目次

1p 1年目の決意
2p~3p 行事報告
4p 部活報告、今後の
予定、編集後記

栃木県那須学園

〒329-2132

矢板市沢800

TEL 0287-43-0573

FAX 0287-43-6886

メール nasu-gakuen

@pref.tochigi.lg.jp

発行日 平成28年11月1日

今年度は多くの先生方が那須学園へやってきました。初めて児童自立支援施設で働く、先生方から「一年目の決意」をいただきました。

篠崎香（女子寮）

那須学園にきて、少しずつ成長している子供達の姿を間近で見ることが出来てうれしく思っています。毎日同じことの繰り返しの中でいつの間にか成長している姿、頑張っている姿、普段の何気ない会話やしぐさから元気をもらっています。そんな中私は自立支援員という立場から子供達と接する中で、様々な手助けをする機会が多くあります。どこまで手伝いどこから見守るのか、線引きに戸惑うことがあります。手伝いすぎると、見守るだけなのも子供達の成長には繋がらない。どんな時に手を差しのべるべきなのか周りの先生方を見習ってきちんと判断し、行動できるようにすることが今の私の目標です。これから子供達の成長と一緒に携われることに感謝しつつ自分自身も成長できるように頑張っていきます。

小堀高秀（沢分教室）

今年三月に中学校教員を定年退職し、四月から再任用となって沢分教室勤務となりました。

久々の小学生の担任・授業や、野球・吹奏楽・水泳・卓球といった部活動、農作業・学校行事への参加は、正直、流れに乗るまで予想以上の時間を要しました。

しかし、これ以上ないほど個性豊かな子供達との日々のコミュニケーションは、徐々に教育の原点を垣間見る貴重な体験となっています。

時には、「これまで常識と考えていたことが通用しない」というパニック症候群に襲われながらも、何とか半年間持ちこたえられました。これも、学園・各寮・分教室の皆さんの励ましとサポートのお陰です。後半戦も気合を入れてがんばってみます。

藤原由美子（沢分校）

沢分校に赴任して、半年がたちました。最初は、健康診断の時以外、保健室利用がほとんどない中で、養護教諭としてどう関わって行こうかと

悩み、考えていました。しかし、授業に支援で参加するうちに、少しずつ生徒の様子がわかるようになり、悩むことも減少していきました。今は、一人一人の成長を間近で感じることができ、やりがいのある職場だと実感しています。

先日、S先生に「県内で一番授業に出ている養護教諭だね」と言われました。確かに、これだけの授業に養護教諭が参加できるのは、沢分校だけです。これからも授業に参加し、その中で、自分のできる生徒への支援をしっかりとしていきたいと思えます。

水井通浩（沢分校）

教師になってから十三年間、「足で稼ぐ」と現場で走り回って来ました。昨年度は大学に留学し、効果的な英語・生徒指導方法を学びました。昨年度末は、教員としての土台が完成したと思う自分がいました。

そして現在、その頃の感覚を恥ずかしく思う自分がいます。沢分校に勤務して早半年、生徒たちの反応から多くのことを学び、自分の未熟さを

を痛感している毎日を送っています。初心に帰ったつもりで「謙虚さ」を忘れることなく、生徒と共に育っていく「共育者」として日々精進していきたく思います。

佐藤明宏（沢分校）

「驚かないで聞いてね。矢板市立矢板中学校・・・沢分校。」
「えっっ！僕で大丈夫ですか？」
「・・・多分。」

前任校の校長先生から内示を受けた時から、半年が過ぎようとしています。

諸活動を通して、今感じることが、「勉強になって、おもしろい！」
「おもしろい」という言い方は、おこがましい言い方もしれませんが、育成課職員の方々も分校職員も、職業名は違つけれど、目の前の生徒をより良くしようと、大人が本当に一生懸命。その情熱に答えるように子供達が成長していく姿が良く分かる。この半年の間でたくさん感動を、子供からも、そして大人からもいただき、充実した日々を過ごしています。沢分校では国語科を教えています。学習面でも子供達がもつともっと向上できるように、微力ながら尽力していきたいです。

行事報告

流しそうめん会

七月一四日

七月一四日、一学期の締めくくりに行事として、流しそうめん会を行いました。そうめんだけでなくそばや天ぷらも用意され、食べる前から子供達も笑顔いっぱいでありました。また、園内の竹を使用して流し台を用意しました。今までに流しそうめんを経験したことのある生徒はいたため、最初のそうめんが流れきたときは大歓声があがり、めんをとるのに苦労する楽しさがありました。上の方でめんを待つ生徒、下のざるに引つかかっためんを食べる生徒と様々でしたが、来年の流しそうめん会は、全校生徒で一列になつてやってみたいと思いました。



海浜宿泊学習

七月一九日～二日

七月一九日(水)～二〇日(木)の二日間、とちぎ海浜自然の家で一泊二日の宿泊学習を実施しました。

一日目は天気にも恵まれ、海浜ウォークラリーの活動に、生徒同士で協力しながら意欲的に活動していました。バイキングの食事や夜の花火でも終始笑顔が見られました。

二日目も天気に恵まれ、水族館見学と海水浴を予定どおり行うことができました。イルカショーでは、前列の特等席で水を浴びながら、楽しそうに見学する子供達の姿が印象的でした。海水浴でも、浮き輪でぶかぶか浮かんだり、波に乗ったり、砂でお城を作ったりと、思う存分海を満喫することができました。子供達が、この体験を今後につなげてくれればと思います。



生き物調査

九月八日 一〇月一四日

九月と一〇月に沢環境保全会の活動の一環として、地域の方々と一緒に生き物調査を実施しました。この生き物調査は学園内を流れる小川で、魚や虫などの水辺の生物を捕まえて数や種類を調べます。子供達にとっては生き物を捕まえることだけではなく、地域の方々との交流も楽しみのひとつになっています。今年の調査でも清流にしか生息しないと言われていた鮎やカジカなどを確認することができました。魚を捕るたびに沸き上がる歓声と子供達の満面の笑みを見ると本当に良い経験をさせてもらっているなと感じます。また、恵まれた自然環境の中で生活できるありがたいさと、こうした自然環境や地域の方々との温かい交流の場もきちんと守っていかなくてはならないと思います。



中学生修学旅行

一〇月一八日～二〇日

一〇月一八日(二〇日)、京都・奈良方面への二泊三日の修学旅行を実施しました。

一日目は奈良に行き、法隆寺や大仏を見学しました。大仏の鼻の穴を全員通ることができて良かったです。

二日目は班ごとに京都市内を散策しました。どの班も充実した自由行動にすることができたようです。

三日目は、白峰神宮で球技の神様にお祈りをし、北野天満宮で学問の神様にお祈りをし、金閣寺を見学しました。お祈りは充分なので、後は本人の実力を高めるのみでしょう。ご飯もおいしく、素敵な女将さんの経営する宿に泊まることができ、生徒も職員も一生の思い出となる修学旅行になりました。



学園祭

九月二日

九月二日(金)に毎年恒例の学園祭が開催されました。この学園祭は地域の方や関係機関の方々を招待し、交流を深め、子供達の成長した姿を見せるために開かれています。今年は事前に子供達からアンケートをとり、自分たちが食べたい模擬店を選びました。計画、環境整備、準備、学園祭当日、片付けまでを学園全体で作りました。そのかいもあつてか、なんと出席者は例年よりも多い一 名以上!! 地域の方、関係機関のご協力もあり大盛況となりました。

初めは接客になれていなく、恥ずかしそうにしていた児童もいざ学園祭がスタートすると積極的にお客さんと関わっていました。中には本物の屋台のように「いらっしやいませー! ただいまサービスタイムです!」と豪快な接客をする児童の姿も見られました。

子供達はおいしい焼きやクレープなどに大満足で、最後まで笑顔・笑顔・笑顔の一日になりました。



おいしくできたよ~

部活動報告

水泳部

八月二五日千葉国際水泳場で開催された、関東水泳大会に男女水泳部が参加してきました。水泳部員たちは、関東水泳大会に向けて、五月からほぼ毎日水泳の練習を頑張ってきました。那須学園の子供たちは、水泳が得意な子もいれば、まったく泳げない子もいます。水泳が苦手な子も、一から水泳のフォームを教えてもらって、徐々に泳げるようになっていきました。得意な子は、バタフライや背泳ぎにも挑戦。各自が自分の限界に挑戦していきました。時には、弱気になったり、自分の力が出せなかったりと、練習も困難の連続でした。部員同士や寮の先生方に励まされながら頑張りました。大会では出場したそれぞれの種目で、優勝、準優勝に輝く子も多数、賞状には届かずも自己ベストを出すなど、練習の成果を存分に発揮した大会になりました。大会後は各自が、さすがらしい表情をしており、水泳での頑張りを通じてさらに成長できた様子がみられました。



バレーボール部

一〇月二七日

八月末、バレー大会に向けて本格的に練習がスタートしました。今年も少人数ながら様々な状況がありました。必ず全員で参加しよう、派手なことはできなくても攻めの気持ちを忘れずに一本一本に勝負しようとして繰り返し話をし、練習を重ねてきました。一人ひとりの技術は向上してチームとなると難しく、みんなで戦うとはどういうことなのか、上手くいかずに落ち込んだり、涙を流すことも少なくありませんでした。不安を抱えながら迎えた本番では緊張もピークに達し、相手に圧倒されました。バラバラだったチームも最後はみんなで一生懸命ボールをつなぎ三位という結果を得ることができました。勝ったときの子供達の笑顔は今ままで一番輝いていたように感じます。この経験が今後の人生に少しでも活かされることを願っています。



3位!おめでとう!

吹奏楽部

六月から活動を開始した吹奏楽部。あっという間に初めての大きな舞台がすぐそこまで近づいています。最初に楽器を触ったときは持ち方から音の出し方まで何もかもがわからず戸惑っていた子供達も今では何とか曲が演奏できるところまで上達しました。

職員と子供達、一緒にスタートしたはずなのに気付けば子供の方が上達している。なんてことも珍しくなく、まさに子供と大人がともに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

しかし音楽はとても奥が深く、音が出るようになったから良いとはいえません。昨年度から継続している曲は妥協せずにより良いものへ、新曲についてはできるところまで最大限に力を発揮して、本番まで上達することを諦めずに取り組んでいきたいと思えます。



陸上部

九月から陸上部がスタートしました。この時期のクラブは生徒たち
にクラブの選択をさせる方式をとつ
ており、五名の生徒が陸上部を選ん
でくれました。五名のメンバーはと
りわけ長距離走が得意なわけではな
いが、やる気を持って入部してくれ
ました。

長距離走の練習を始めて一か月
半が経ちました。もちろん、最初の
ころに比べタイムは伸びているので
すが、大きく成長しているのは取り
組み姿勢だと思えます。それは、タ
イムを意識する姿勢や練習後のグラ
ンド整備、また、「もっときついメ
ニューをください」という生徒も出
てきていることです。

今後、二つのマラソン大会に出場
します。参加することで、陸上だけ
でなく、礼儀やマナー、走りきるこ
とで達成感などを得られるようにな
ってほしいと願っています。



卓球部

昨年は武蔵野学院、向陽学園、埼
玉学園の三強のどれかを倒しての三
位入賞を目標に練習を重ねたので
すが、結局その全部に負けてしまい結
果ベスト八で終わってしまいました。
去年のメンバーも良いメンバーだっ
たのですが、今年はさらに良いメン
バーが入部してくれました。そこで、
今年の目標も「去年負けてしまった
三チームを倒して三位以上の入
賞!」としたいと思えます。そのた
めに、今も日々厳しい練習に励んで
います。今年こそ団体戦で三位以上
を狙っていきたいと思っています。
宜しくお願ひします。



学園内活動報告

中卒生作業について

今年度は中卒生作業を行って
います。例年、生徒の進路状況によつ
て内容が変わっていくのですが、主
に学園全体の環境整備や行事の準備
を行なうことが多いです。生徒たち
に作業目標を持たすために一週間毎
の工程表を作り、月曜日と金曜日に
は製作や座学の時間を設けています。
製作では園内の役に立つ物作りや修
繕を行なっています。このような時
間により丁寧な仕上げるように伝え、
多くの方に見てもらふことで責任感
や達成感を得られるよう教えていま
す。また、作業機械を使用させるた
め、職員が生徒を対象に使い方の講
習を実施しています。まだまだ試行
錯誤しながら、社会に出るために働
く力をつけるだけでなく、生徒たち
の特性に合わせた工夫を加え、実施
しているのが現状です。

今後の予定

- 二月一日 関東少年文化祭
- 二月二日 陸上部
たかはらマラソン
- 二月四日 収穫感謝祭
- 二月一日 関東少年卓球大会

二月一日

陸上部
しおや湧水の里
マラソン大会

二月二日

クリスマス会

二月三日

第一回スキー教室

二月四日

第二回スキー教室

二月五日

園内マラソン大会

編集後記

朝夕の寒さをめっぽう感じる
今日この頃ですが、那須学園の
子供達はご覧いただいたとおり
学習、運動、作業のほかいろい
ろな行事に元気いっぱい励んで
います。皆様におかれましても
健康管理には十分注意して過ご
して頂きたいと思ひます。

今年度も下半期に入りました
が、那須学園ではクリスマス会
などいろいろな行事がまだまだ
控えております。これからも元
気いっぱいなお伝えしてい
きたいと思ひます。今後とも子
供達の力強い勇姿をご期待くだ
さい。

育成課

松田・上坪・塩山・島野